

## 北海道洋上風力人材育成コンソーシアム 設立趣旨書

近年、脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの導入拡大が国際的に求められており、特に洋上風力発電は大規模な電力供給が可能なエネルギーとして重要性を増している。日本においても洋上風力発電の導入が国家的な政策として推進されており、関連産業の育成及び専門人材の確保が喫緊の課題となっている。

北海道は、豊富な風況資源と広大な海域を有しており、我が国における洋上風力発電の有力な導入地域の一つとして期待されている。一方で、洋上風力発電事業の推進には、発電設備の設計・建設・運用・保守のみならず、海洋環境、地域社会との共生、関連産業の高度化など、多様な分野に対応できる専門的な人材の育成が不可欠である。

しかしながら、これらの分野を横断的に担う人材育成の体系は、国内において必ずしも十分に整備されているとは言えない。このため、大学、企業、研究機関、行政機関等が連携し、洋上風力分野における体系的かつ実践的な教育システムを構築することが求められている。

このような背景のもと、北海道における洋上風力人材育成の推進を目的として、関係する大学、企業、団体、有識者及び関係府省庁等が連携し、「北海道洋上風力人材育成コンソーシアム」を設立する。

本コンソーシアムは、北海道の洋上風力人材育成のための教育システムを強化・充実させることを目的とし、次の活動を推進する。

- ・洋上風力人材育成のための教育システムモデルの創出
- ・教育システム構築に向けた教育・研究環境の整備
- ・教育システムに関する情報の収集・発信及び普及啓発
- ・その他、本コンソーシアムの目的達成に必要な活動

これらの活動を通じて、洋上風力分野における高度な専門人材を育成するとともに、北海道における関連産業の発展及び地域社会の持続的発展に寄与することを目指す。

以上の趣旨に賛同する関係機関が連携し、北海道における洋上風力人材育成の拠点形成を推進するため、本コンソーシアムを設立する。

令和8年4月10日

北海道洋上風力アカデミー代表  
北海道大学 副理事 宮下 和士